

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名	SSSボンド# 1000主剤 通年用
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	販売営業部
作成者	技術部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	モルタル浮きの注入補修
整理番号	120214R

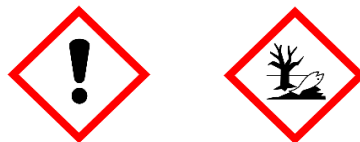
2. 危険有害性の要約

GHS分類		
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分2
	水生環境有害性（慢性）	区分2

※上記以外は区分に該当しない分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激 眼刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書

【安全対策】

適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後は手や顔をよく洗い、うがいを十分に行うこと。
環境への放出を避けること。

【応急処置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当をうけること。
汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密閉して、涼しいところ/換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

物質の特定 成分及び含有量

物質名	化審法番号	CAS番号	含有量 (%)	備考
ビスフェノールA型 エポキシ樹脂	既存	25068-38-6	65~75	
シリカ(非晶質)	既存	67762-90-7	1~10	

※ 代表値であり、規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に写し、暖かくして安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護 : 救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手に付かないように注意を払うこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状の水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤 : 水（棒状水、高圧水）

特定の危険有害性 : 不完全燃焼および熱分解により、一酸化炭素、二酸化炭素、各種の炭化水素、アルデヒドおよび煤煙などの毒性ガスの発生のおそれがある。これらを閉鎖された空間内または高濃度で吸入すると極めて危険であるおそれがある。

特有の消火方法 : 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 河川への排出などにより、環境への影響を起ささないように注意する。
側溝、下水、河川に流出しないように注意する。
- 封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取り扱うとき用いるすべての設備は設置する。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
吸収したものを集めるとき、きれいな帯電防止器具を用いる。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止方ものを使用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。
- 注意事項 : 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。

保管

- 技術的対策および保管条件 : 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。
- 注意事項 : 強酸化剤、強酸、強アルカリとの接触は避ける。
転倒、転落しないように注意する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 (ACGIH) : シリカ 10mg/m³ (TLV)、総粉塵8mg/m³ (日本産業衛生学会)
- 設備対策 : 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースをとるように設備する。
- 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
- 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とす
- 局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
- タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に喚起できる装置
- 取り付けること。
- 取扱い場所の近くには洗眼器、シャワーを設置する。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 密閉された場所では送気マスクを着用する。
- 手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 眼の保護具 : 取扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚および
身体の保護具 : 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

- 状態 : グリス状
- 色 : 白色
- 臭い : わずかな臭気
- 引火点 : 約172℃
- 比重 (密度) : 約1.15
- 水に対する溶解性 : 難溶
- 溶媒に対する溶解性 : トルエン、キシレンなどの有機溶剤によく溶ける
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点または初留点及び
沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : あり
- 爆発下限界及び爆発
上限界/可燃限界 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- PH : 該当せず
- 粘度 : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : 該当せず

10. 安定性および反応性

化学的安定性	: 通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下では安定
避けるべき条件	: 継続的な高温状態（50℃以上）、低温状態（5℃以下）、高温、火気、スパーク。
混触危険物質	: エポキシ樹脂硬化剤（アミン類等）、強アルカリ類、強酸類、酸化剤、重合開始触媒
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素類等を発生する。
その他の危険性情報	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂（LD ₅₀ ラット：11400mg/kg、区分に該当しない）
経皮	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂（区分2）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂（区分2B）
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂（区分1）
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性－単回ばく露	: 分類できない
特定標的臓器・全身毒性－反復ばく露	: 分類できない
誤えん有毒性	: 分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂（EC ₅₀ 甲殻類 48時間：1.7mg/L（区分2）
(慢性)	: ビスフェノールA型エポキシ樹脂（区分2）
生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	: 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

国連番号 : 3077

指針番号 : 171

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。

品名 : 環境有害性物質（個体）

国連分類 : 9

容器等級 : III

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 3077

Class : 9

Packing group : III

15. 適用法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）

消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類

労働基準法 : 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）
感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、
平8労基局長通達、基発第182号）（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）

労働安全衛生法 : （表示・通知対象物質） シリカ
変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達）
（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）

有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない

化学物質管理促進法 : 非該当

船舶安全法 : 有害性物質（危規則第3条危険物告示 別表第1）

航空法 : その他の有害物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）

海洋汚染防止法 : 未査定物質

外国為替及び : 輸出貿易管理令別表第1の16の項、キャッチオール規制品目

外国貿易管理法

16. その他の情報

参考文献

- ・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
- ・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
- ・化学物質安全性評価シート（化学物質評価研究機構）
- ・国際化学物質安全カード（ICSC）
- ・新エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱いの手引き（エポキシ樹脂技術協会）
- ・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

安全データシート（混合物用）

1. 製品および会社情報

製品名	SSSボンド# 1000硬化剤 通年用
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	販売営業部
作成者	技術部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	モルタル浮きの注入補修
整理番号	120214H

2. 危険有害性の要約

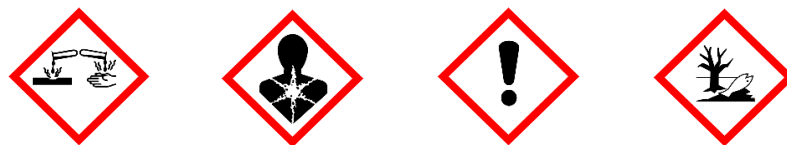
GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分4
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分1B
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分1B
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分2
	水生環境有害性（慢性）	区分2

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 適切な保護手袋／保護眼鏡／保護マスク／保護面／保護衣を着用すること。
- ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護衣を着用すること。
 取扱い後は手や顔をよく洗い、うがいを十分に行うこと。
 環境への放出を避けること。

【応急処置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚（または髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当をうけること。
 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密閉して、涼しいところ/換気の良い場所で、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物
 主成分 : 変性脂肪族ポリアミン、ポリアミドアミン
 物質の特定 成分及び含有量

物質名	化審法番号	CAS番号	含有量 (%)	備考
変性脂肪族ポリアミン、 ポリアミドアミン等	-	-	75~90	
2,4ジ-t-ブチルフェノール	既存	96-76-4	3.5	第1種指定化学物質
トリエチレンテトラミン	既存	112-24-3	1.4	第1種指定化学物質
シリカ（非晶質）	既存	67762-90-7	1~10	
プロピレングリコール モノメチルエーテル	既存	107-98-2	1~10	労働安全衛生法 57条の2
ベンジルアルコール	既存	100-51-6	1~10	労働安全衛生法 57条の2

※ 代表値であり、規格値ではありません。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に写し、暖かくして安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口を誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手に付かないように注意を払うこと。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 小火災：粉末、炭酸ガス、散水
炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状の水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 火災時の特定の危険有害性 : 火災時に一酸化炭素を発生する可能性がある。
- 特有の消火方法 : 消火活動は風上より行う。
移動可能な可燃性容器は安全な場所へ移す。
周囲の可燃物設備を散水して冷却する。
指定の消火剤を使用すること。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
屋内では換気をしっかり行う。
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
付近の着火源・高温体および付近の可燃物をすばやく取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 河川への排出などにより、環境への影響を起ささないように注意する。
側溝、下水、河川に流出しないように注意する。
- 封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取り扱うとき用いるすべての設備は設置する。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

後で廃棄処理する。

吸収したものを集めるとき、きれいな帯電防止器具を用いる。

大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。
工具は火花防止方ものを使用する。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
過去に、アレルギー症状を経験している人は取り扱わない。

注意事項 : 静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。

保管

技術的対策 : 日光の直射を避ける。容器を密閉して通風のよいところに保管する。

および保管条件 : 火気、熱源から遠ざけて保管する。
酸化剤、酸から離して保管する。
軟鋼、銅、アルミニウム、亜鉛には腐食性があるため、表面処理された鋼板あるいはステンレス容器に保管する。

注意事項 : 強酸化剤、強酸、エポキシ樹脂との接触は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 (ACGIH) : シリカ 10mg/m³ (TLV)

設備対策 : 取扱い設備は防爆型を使用する。
液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースをとるよう設備する。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に喚起できる装置を取り付けること。
取扱い場所の近くには洗眼器、シャワーを設置する。

保護具

呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具 : 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具	: 取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および 身体の保護具	: 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。 また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

状態	: グリス状
色	: 淡褐色
臭い	: アミン臭
引火点	: 約166℃
比重（密度）	: 約1.0
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
水に対する溶解性	: 難溶
溶媒に対する溶解性	: トルエン、キシレンなどの有機溶剤によく溶ける
融点/凝固点	: データなし
沸点または初留点及び 沸点範囲	: データなし
可燃性	: あり
爆発下限界及び爆発 上限界/可燃限界	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
PH	: 該当せず
粘度	: データなし
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 該当せず

10. 安定性および反応性

化学的安定性	: 通常の下条件下では安定であるが、長時間の空気との接触では変質する。
危険有害反応可能性	: 通常の下取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 高温、火気、スパーク。
混触危険物質	: アルカリ、酸化剤
危険有害な分解性生成物	: 燃焼したとき、有害ガス（一酸化炭素、二酸化炭素）を発生する。
その他の危険性情報	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	: 2,4ジ- t -ブチルフェノール (LD ₅₀ ラット: 1762mg/kg、区分4) ベンジルアルコール (LD ₅₀ ラット: 1200mg/kg、区分4)
経皮	: トリエチレントラミン (LD ₅₀ ウサギ: 550mg/kg、区分3) ベンジルアルコール (LD ₅₀ ウサギ: 2000mg/kg、区分4)

吸入 (蒸気)	: プロピレングリコールモノメチルエーテル (LC50 マウス : 6038~7559ppm/6h、区分4)
皮膚腐食性・刺激性	: トリエチレントラミン (区分1) 2,4ジ- t -ブチルフェノール (区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: トリエチレントラミン (区分1) 2,4ジ- t -ブチルフェノール (区分2A) プロピレングリコールモノメチルエーテル (区分2B) ベンジルアルコール (区分2)
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: トリエチレントラミン (区分1)、ベンジルアルコール (区分1A)
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	: 2,4ジ- t -ブチルフェノール (区分2腎臓) トリエチレントラミン (区分3気道刺激性) ベンジルアルコール (区分1中枢神経系、腎臓) プロピレングリコールモノメチルエーテル、ベンジルアルコール (区分3麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	: 2,4ジ- t -ブチルフェノール (区分2腎臓、血液凝固系) ベンジルアルコール (区分1中枢神経系)
誤えん有毒性	: 分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	: トリエチレントラミン (EC ₅₀ (藻類72h) 27mg/L、区分3) 2,4ジ- t -ブチルフェノール (EC ₅₀ (甲殻類48h) 0.33mg/L、区分1) ベンジルアルコール (LC ₅₀ (魚類96時間) 10mg/L、区分2)
(慢性)	: トリエチレントラミン (区分2) 2,4ジ- t -ブチルフェノール (区分1)
生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約 (マニフェスト) をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
-------	--

汚染容器および包装 : 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

共通 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規定

国連番号 : 3259
指針番号 : 154
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送 : 航空法に定めるところに従うこと。
品名 : ポリアミン類（個体）（腐食性）
国連分類 : 8
容器等級 : III

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. : 3259
Class : 8
Packing group : III

15. 適用法令

消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類
労働安全衛生法 : プロピレングリコールモノメチルエーテル、ベンジルアルコール、シリカ（表示・通知対象物質）
化学物質管理促進法 : 2,4ジ- t -ブチルフェノール、トリエチレンテトラミン（第1種指定化学物質）
大気汚染防止法 : トリエチレンテトラミン（有害大気汚染物質 中央環境審議会第9答申）
水質汚濁防止法 : 2,4ジ- t -ブチルフェノール（指定物質 政令第3条の3第55号 フェノール類及びその塩類）
船舶安全法 : 腐食性物質（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法 : 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）

16. その他の情報

参考文献

- ・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
- ・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
- ・化学物質安全性評価シート（化学物質評価研究機構）
- ・国際化学物質安全カード（ICSC）
- ・既存化学物質安全性点検データ

- ・新エポキシ樹脂硬化剤正しい取り扱い手引き（エポキシ樹脂技術協会）
- ・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・
取り扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した
場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、
使用者において安全性の確認を行ってください。